

I 第50週の発生動向 (2008/12/8~2008/12/14)

水痘については、むつ保健所管内において、先週発令された**警報**は解除になりましたが、青森市保健所管内及び五所川原保健所管内において増加していることから、他の地域においても注意が必要です。

II 第50週五類感染症定点把握 注：五類感染症定点把握疾病の警報・注意報については、二次保健医療圏単位で判定しています。

疾患番号・疾患名	東地方(青森市)		弘前		八戸		五所川原		上十三		むつ		青森県計		増減数 <small>(前週からの増減)</small>	東地方(再掲)		青森市(再掲)		定点数					
	数	定点	数	定点	数	定点	数	定点	数	定点	数	定点	数	定点		数	定点	数	定点	数	定点	数	定点	数	定点
(85) インフルエンザ	3	0.21	4	0.27	4	0.29			21	2.33	16	2.67	48	0.74	46				3	0.25	インフルエンザ (小児科+内科) 小児科 内科 眼科 基幹				
(74) RSウイルス感染症	5	0.56	7	0.78	2	0.22	8	1.60	11	1.83	1	0.25	34	0.81	5			5	0.63						
(75) 咽頭結膜熱	2	0.22	2	0.22							2	0.50	6	0.14	-4			2	0.25						
(76) A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	26	2.89	35	3.89	6	0.67	2	0.40	8	1.33			77	1.83	13	5	5.00	21	2.63						
(77) 感染性胃腸炎	40	4.44	11	1.22	22	2.44	12	2.40	20	3.33	16	4.00	121	2.88	-2	10	10.00	30	3.75						
(78) 水痘	33	3.67	14	1.56	10	1.11	17	3.40	8	1.33	4	1.00	86	2.05	-25			33	4.13						
(79) 手足口病	4	0.44	23	2.56	4	0.44			19	3.17			50	1.19	19			4	0.50						
(80) 伝染性紅斑	3	0.33	3	0.33			1	0.20					7	0.17	-1			3	0.38						
(81) 突発性発しん	9	1.00	1	0.11	6	0.67	1	0.20	4	0.67	3	0.75	24	0.57	5	1	1.00	8	1.00						
(82) 百日咳															-1										
(72) 風しん	平成20年1月1日から全数把握疾患に移行しました。																								
(83) ヘルパンギーナ			1	0.11									1	0.02	-2										
(73) 麻疹	平成20年1月1日から全数把握疾患に移行しました。																								
(84) 流行性耳下腺炎	10	1.11			1	0.11	2	0.40					13	0.31	0			10	1.25						
(86) 急性出血性結膜炎															0										
(87) 流行性角結膜炎	2	1.00			1	0.50	1	1.00					4	0.36	-2			2	1.00						
(95) マイコプラズマ肺炎					6	6.00					6	6.00	12	2.00	3										

■ は警報 ■ は注意報 「空欄」：患者発生数0

III 表II以外の感染症法対象疾患 (注：届出数は速報値です)

(9) 結核(二類全数把握疾患)：八戸2人、上十三2人 (20年計：453人)

過去の全数把握疾患については、月報をご覧ください。

感染症の窓

インフルエンザ

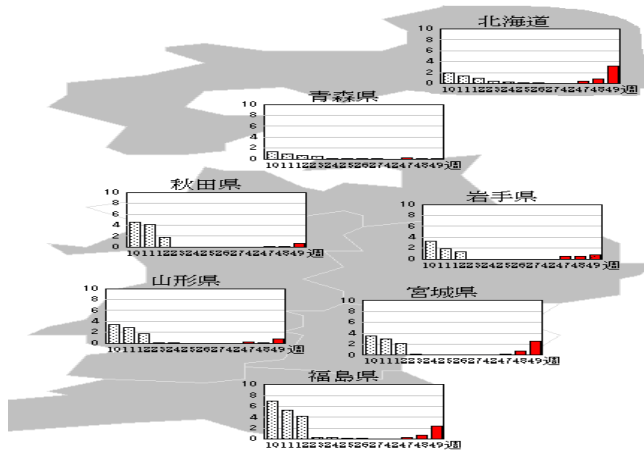


図1 北海道・東北地域における届出数推移 (第49週まで)

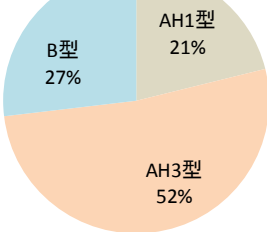


図2 インフルエンザ型別 (全国) (2008-36週~2009-35週速報値：国立感染症研究所)

現在、全国的にインフルエンザ患者が増加しており、特に山梨県、山口県、福井県、兵庫県が多い届出数となっています。近県では、宮城県、福島県および北海道において、第49週定点あたり報告数がいずれも2.4人/定点以上となっています(図)。型別においては、AH3型が多く検出されています(図2)。インフルエンザは、発熱、咽頭痛、咳などの症状が出現し、感染力が強く、体の弱っている方では重症になることがあるので、日常生活においては、十分に栄養や睡眠をとり、体力や抵抗力を高め、体調管理をすることが大切です。流行時期には、うがいやマスクの着用が重要であり、感染を拡げないためには、鼻汁・痰などを含んだティッシュはすぐにゴミ箱に捨て、咳をするときには、ティッシュなどで口と鼻を覆い、他人から顔をそむけて1m以上離れましょう。ワクチン接種については、最寄りの医療機関、医師に相談しましょう。

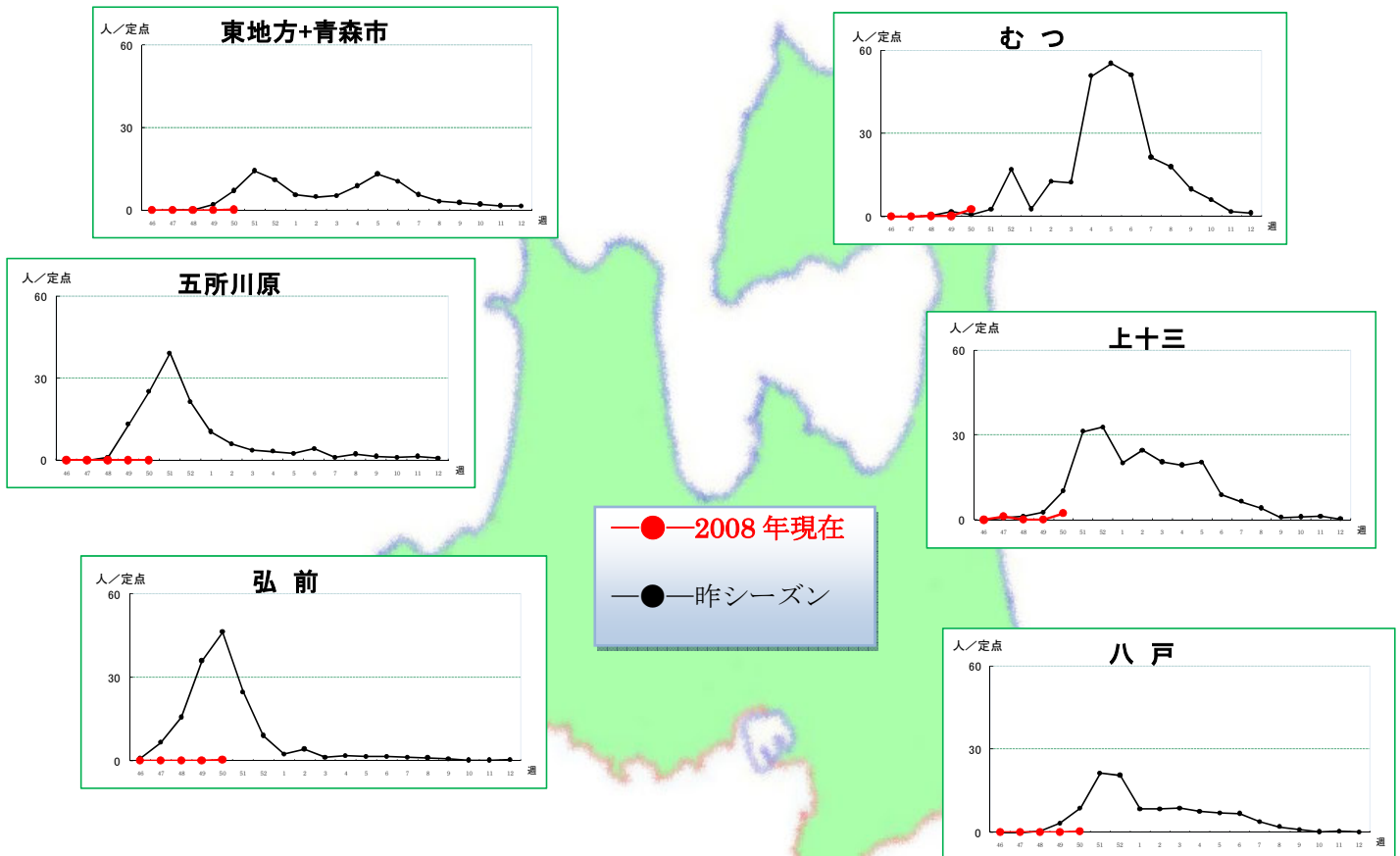
#### IV インフルエンザ情報

インフルエンザは、前週に比べ、46人の増加です（2人→48人）。

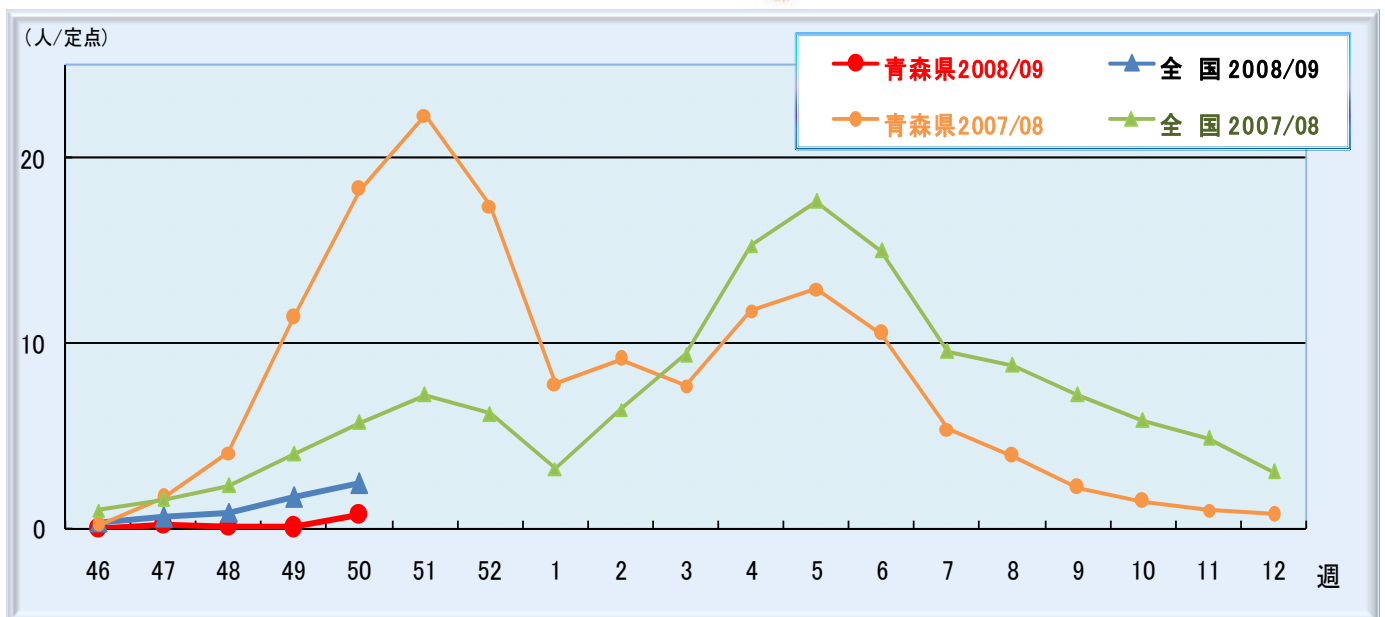
迅速診断キットによる型別は、以下のとおりです。

弘前保健所管内：A型4人、八戸保健所管内：A型2人、不明2人、上十三保健所管内：A型21人、むつ保健所管内A型：19人。

##### IV-1 保健所管内別届出数推移



##### IV-2 全国及び青森県における届出数推移 (2007-2008シーズン - 2008-2009シーズン)



関連情報 ☞ 今年度の標語 **《あ、その咳、そのくしゃみ～咳エチケットしてますか?～》**

厚生労働省：今冬のインフルエンザ総合対策について <http://www.mhlw.go.jp/bunya/kenkou/kekaku-kansenshou01/index.html>

保健衛生課：インフルエンザの予防について [http://www.pref.aomori.lg.jp/welfare/health/08-09seasonal\\_flu.html](http://www.pref.aomori.lg.jp/welfare/health/08-09seasonal_flu.html)

インフルエンザワクチン予防接種実施医療機関情報 [http://www.pref.aomori.lg.jp/welfare/health/flu\\_shot.html](http://www.pref.aomori.lg.jp/welfare/health/flu_shot.html)